

教 育 研 究 業 績

2021年5月1日

氏名 布川 律子
学位： 修士（商学）

| | | |
|--|------------------------------|--|
| 研 究 分 野 | 研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド | |
| 経営学 | 経営管理会計 マネジメント・コントロール 企業間原価管理 | |
| 主要担当授業科目 | 簿記入門 商業簿記（初級） 経営管理と会計 | 経営分析入門 原価計算（基礎） 原価計算（応用） |
| 教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項 | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | |
| 2 作成した教科書、教材 『入門簿記』共著、創成社 | 平成 18 年 6 月 | 簿記の仕組みに関する基本的な内容を一通り説明した、簿記初学者および各種簿記検定試験を目指す学生向けの教科書である。日商簿記検定で言えば3級レベルの内容を網羅しているが、次のステップに進む動機づけを与える趣旨から一部2級レベルの論点（手形の不渡り、洗替法による貸倒引当金の設定、定率法による減価償却、消費税など）も加えている。構成は第Ⅰ部簿記の基本原則、第Ⅱ部諸取引の処理、第Ⅲ部決算であり、各章末に練習問題がある。担当箇所 第13章（pp.106～111）、第16章、第17章、第18章（pp.124～141）。分担執筆者 倉茂道徳、市村一之、臼田正利、狩野一久、 <u>布川律子</u> |
| 3 教育上の能力に関する大学等の評価 | | |
| 1) 平成 21 年度学生による授業評価 | 平成 21 年 7 月 | 学生による授業評価アンケート「簿記入門」で、授業の満足度において99%の学生から肯定的評価を得た。 |
| | 平成 22 年 1 月 | 学生による授業評価アンケート「商業簿記（初級）」で、授業の満足度において95%の学生から肯定的評価を得た。 |
| 2) 平成 22 年度学生による授業評価 | 平成 23 年 1 月 | 学生による授業評価アンケート「原価計算（基礎）」で、授業の満足度において92%の学生から肯定的評価を得た。 学生による授業評価アンケート「原価計算（応用）」で、授業の満足度において100%の学生から肯定的評価を得た。 |
| 3) 平成 23 年度学生による授業評価 | 平成 24 年 1 月 | 学生による授業評価アンケート「原価計算（応用）」で、授業の満足度において90%の学生から肯定的評価を得た。 学生による授業評価アンケート「経営管理と会計」で、授業の満足度において95%の学生から肯定的評価を得た。 |
| 4) 平成 24 年度学生による授業評価 | 平成 25 年 1 月 | 学生による授業評価アンケート「経営管理と会計」で、授業の満足度において94%の学生から肯定的評価を得た。 |
| 5) 平成 25 年度学生による授業評価 | 平成 25 年 7 月 | 学生による授業評価アンケート「簿記入門」で、授業の満足度において91%の学生から肯定的評価を得た。 |
| | 平成 26 年 1 月 | 学生による授業評価アンケート「経営管理と会計」で、授業の満足度において96%の学生から肯定的評価を得た。 |
| 4 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 1) 平成 16 年度横浜市立大学リベラルアーツ講座 「会計の仕組みと考え方、使い方」 第1講 会計の役割と記録システム | 平成 16 年 10 月 | 横浜市立大学エクステンションセンターにおいて、一般市民を対象に、会計の意義と役割、および簿記の技術的側面を解説した。 |
| 2) 平成 19 年度横浜市立大学エクステンション講座 「管理会計って面白い」 | 平成 19 年 11 月 | 横浜市立大学エクステンションセンターにおいて、一般市民を対象に、会計の基本的な仕組みと、貸借対照表、損益計算書、キャ |

| | | | | |
|--|-----------------|---|----------------------|--|
| 第2回 決算書ってどんなもの？ | | ツシュ・フロー計算書の見方を解説した。 | | |
| 3) 平成 22 年度横浜市立大学エクステンション講座 「企業経営のための会計入門」第 2 回 企業経営の成績表 ～財務諸表を読む～ | 平成 22 年 10 月 | 横浜市立大学エクステンションセンターにおいて、一般市民を対象に、決算書の情報から企業の収益性や財務の安全性を読み取る財務諸表分析の基礎を解説した。 | | |
| 5 その他 | | 特になし | | |
| 職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項 | | | | |
| 事項 | 年月日 | 概要 | | |
| 1 資格, 免許 | | 該当なし | | |
| 2 特許等 | | 該当なし | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | 特になし | | |
| 4 その他 | | 特になし | | |
| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 | | | | |
| 著書, 学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (著書) 1 『学際的管理会計』 | 共著 | 平成 13 年 11 月 | 白桃書房 | 管理会計を中核とした隣接諸学との学際的研究をテーマとしている。構成は、第 1 章総論、第 2 章マーケティング会計、第 3 章研究開発会計、第 4 章ロジスティクス会計、第 5 章広告会計、第 6 章本社費・金利会計、第 7 章人件費会計、第 8 章情報処理会計、第 9 章分社会計である。担当したマーケティング会計の章は、生産者から消費者または利用者に至る財貨およびサービスの流れを遂行するために必要とされる会計情報についての考察である。本書は編著者西澤脩先生の古稀記念として出版されたものである。担当箇所 第 2 章第 5 節 (pp. 67～78)。編著者 西澤脩。分担執筆者 木村幾也・幅勇雪・布川律子ほか 3 7 名。 |
| 2 『入門簿記』(再掲) | 共著 | 平成 18 年 6 月 | 創成社 | 簿記の仕組みに関する基本的な内容を一通り説明した、簿記初学者および各種簿記検定試験を目指す学生向けの教科書である。日商簿記検定で言えば 3 級レベルの内容を網羅しているが、次のステップに進む動機づけを与える趣旨から一部 2 級レベルの論点(手形の不渡り、洗替法による貸倒引当金の設定、定率法による減価償却、消費税など)も加えている。構成は第 I 部簿記の基本原則、第 II 部諸取引の処理、第 III 部決算であり、各章末に練習問題がある。担当箇所 第 13 章 (pp. 106～111)、第 16 章、第 17 章、第 18 章 (pp. 124～141)。分担執筆者 倉茂道徳、市村一之、臼田正利、狩野一久、布川律子 |

| 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項 | | | | |
|--|---------|-----------------|---|---|
| 著書, 学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
| (学術論文) 1 「サプライヤー・マネジメントにおけるリードタイム・コストの活用」 | 単著 | 平成 12 年 11 月 | 『商学研究科紀要』第 51 号、早稲田大学大学院商学研究科、pp. 181～192 | サプライチェーン・マネジメントのうち、特に組立型産業のアsemblerと部品サプライヤーの協働関係の構築を目的とするサプライヤー・マネジメントに焦点をあて、リードタイムを財務的尺度で表示するリードタイム・コスト算定の意義と、サプライヤー・マネジメントへの適用可能性を検討した。また、バランスト・スコアカードとの融合により、リードタイムと、品質や顧客ロイヤリティといった他の重要な非財務的尺度との因果関係を考察しながら企業間連携を図る可能性を提示した。 |
| 2 「部品調達の効率化における管理会計情報の有用性」 | 単著 | 平成 12 年 12 月 | 『産業経営』第 29 号、早稲田大学産業経営研究所、pp. 69～88 | 戦略的提携の進展や情報技術の進歩により変化する企業環境の中で、組立型産業の部品調達効率化における管理会計情報の有用性をテーマとした。部品調達マネジメントの特質は、企業間の価値活動が長期にわたって行われる、相互に有益な形で協働するための対話を行う、および時間や品質といった非財務的尺度を有機的に組み込む、ということにあり、この特質に照らして、部品調達マネジメントに求められる管理会計情報のあり方を検討し、問題点を考察した。 |
| (その他) 1 (学会報告) 「サプライヤー・マネジメントにおけるリードタイム・コストの活用」 | | 平成 11 年 9 月 | 日本管理会計学会第 9 回全国大会 (福岡大学) | 今日の経営環境においては優れたサプライチェーンを形成することが競争優位の源泉である。サプライチェーン・マネジメントの本質は、企業間のアライアンスによりサプライチェーンに参加するプレーヤーに機敏に反応することであり、時間短縮は重要な成功要因の 1 つである。本報告では、特に組立型産業のアsemblerと部品サプライヤーの協働関係の構築を目的とするサプライヤー・マネジメントに焦点をあて、リードタイムを財務的尺度で表示するリードタイム・コスト算定の意義と、サプライヤー・マネジメントへの適用可能性を検討した。 |
| 2 (分担翻訳) 『企業連携のコスト戦略』 | | 平成 12 年 9 月 | ダイヤモンド社 | 担当箇所 第 4 章リレーなバイヤー/サプライヤー関係 第 5 章リレーなサプライヤーネットワーク。 監訳 清水孝・長谷川恵一。 |